

令和 8 年度

# 加賀市一般廃棄物処理実施計画（案）

（参考資料）



令和 8 年 3 月

産業振興部環境課



令和8年度 ごみ処理実施計画

1 ごみの排出量〔=処理量〕及び資源化量の見込み

※（ ）内は令和7年度実績見込み値

ごみの種類	排出量 〔処理量〕	資源化量	搬出先 〔処理・再資源化事業者等〕
可燃ごみ	15,426 t (15,658)	古紙 65 t (69)	資源回収業者
不燃ごみ	594 t (603)	破碎鉄 131 t (133)	資源回収業者
粗大ごみ	1,512 t (1,503)	破碎アルミ 11 t (12)	〃
		粗大鉄 142 t (144)	〃
		被覆線 3 t (4)	〃
		銅付アルミ 1 t (1)	〃
		小型家電 73 t (76)	〃
資源ごみ	1,616 t (1,648)	スチール缶 22 t (23)	資源回収業者
		アルミ缶 52 t (53)	〃
		カレット 320 t (321)	〃 (生きピン含)
		紙パック 12 t (12)	資源回収業者
		ペットボトル 109 t (110)	容器包装リサイクル協会
		プラ容器包装 267 t (271)	〃
		紙製容器包装 124 t (127)	株山下商店
		古紙 535 t (549)	再生資源事業者
		廃食用油 13 t (13)	資源エコロジーリサイクル事業協同組合
		生ごみ (堆肥化) 160 t (162)	〃
パソコン 2 t (2)	リネットジャパン		
有害ごみ	20 t (21)	乾電池・蛍光灯 20 t (21)	民間処理業者
埋立ごみ	610 t (612)		
剪定枝	704 t (718)		
合計	20,482 t (20,763)	2,062 t (2,103)	再生利用率：約10% ( 約10% )

計画年度	R6実績	R7見込	R8計画	R9目標	R9予測値
人口(1月1日)	62,527人	61,686人	60,851人	64,313人	約64,489人
ごみ排出量 t/年 (g/人・日)	21,497 t (942) g	20,763 t (922) g	20,484 t (922) g	23,300 t (990) g	25,139 t (1,068) g
資源化量 t/年 (リサイクル率)	2,148 t (10%)	2,103 t (10%)	2,062 t (10%)	約3,029 t (13%)	2,887 t (12%)

## 生活系ごみ

計画年度	R6実績	R7見込	R8計画	R9目標	R9予測値
排出量 t/年 (g/人・日)	12,727 t (558) g	12,141 t (539) g	11,981 t (560) g	11,737 t (500) g	15,512 t (578) g
可燃ごみ	9,323 t	8,757 t	8,627 t	-	9,698 t
不燃ごみ	397 t	437 t	430 t	-	588 t
粗大ごみ	1,553 t	1,503 t	1,512 t	-	1,577 t
有害ごみ他	28 t	21 t	20 t	-	1,742 t
資源ごみ	1,426 t	1,423 t	1,392 t	-	1,907 t

## 事業系ごみ

計画年度	R6実績	R7見込	R8計画	R9目標	R9予測値
事業所数	3,855	3,844	3,832	-	3,809
排出量 t/年 (t/事業所)	7,770 t (2.02) t	7,307 t (1.90) t	7,691 t (2.01) t	9,330 t (2.40) t	9,345 t (2.45) t
可燃ごみ	7,301 t	6,901 t	6,799 t	-	8,686 t
不燃ごみ	244 t	150 t	148 t	-	306 t
資源ごみ	225 t	256 t	265 t	-	353 t

## 2 ごみの減量化・資源化の方策

### (1)分別処理の実施

廃棄物の分別処理により可燃ごみや埋立てごみの減量化に努める。

#### R8 計画

##### ○ 資源ごみの分別収集の徹底（13 種類）

**分別区分** カン・びん（3 色）・PET・紙製容器・プラ容器・古紙（新聞・雑誌・ダンボール）  
・紙パック・廃食用油・生ごみ

#### R7 実施

- ・ 区長宛文書による不適正排出等分別指導（例：別紙①）

### (2)生活系可燃ごみ処理の有料化

排出量に応じた経済的負担を求めることにより、ごみの減量化に対する意識を高める。

#### R8 計画

##### ○ 加賀市指定ごみ袋の運用

	45 リットル	20 リットル	10 リットル
ごみ処理手数料	500 円／10 枚	250 円／10 枚	125 円／10 枚

### (3)啓発事業 **重点**

ごみ減量やリサイクルを身近に感じることができるよう、減量化目標を周知する。また、ごみの分別方法がわかりにくいと感じている住民を対象に説明会を開催し、市民 1 人 1 人のごみの減量化・資源化に対する取り組みを促進する。

#### R8 計画

- 毎月「広報かが」に記事を連載
- 「加賀市ごみナビ」の導入
- 各種団体等との意見交換
- 加賀ケーブルテレビ行政情報の放映  
・テーマ「ごみの分別徹底～火災事故を発生させないために～」

○ 加賀市環境美化センター施設見学

R7 実施

- ・ 毎月「広報かが」に記事を連載（参照：別紙②）
- ・ 加賀市ごみナビの試験導入 令和 7 年 10 月 1 日から  
文字、画像での AI ごみ分別検索  
日本語のほか 6 か国語対応  
（英語・韓国語・中国語（簡体）・中国語（繁体）・インドネシア語・マレー語）  
※令和 8 年 4 月よりベトナム語を追加  
地区登録により、直近 2 か月のごみカレンダーを表示  
普及率の高い LINE から「友だち登録」して利用
- ・ 女性協議会との意見交換会
  - ① 加賀市女性協議会 令和 7 年 6 月 4 日
  - ② 山中温泉地区女性協議会 令和 7 年 7 月 10 日  
ごみ減量化・有料化、ごみ袋・有料化、今後の課題についての意見交換 など
- ・ 加賀ケーブルテレビ行政情報の放映  
テーマ「ごみの分別徹底～火災事故を発生させないために～」 5 月 毎週水曜）19 時
- ・ 加賀市環境美化センター施設見学 作見小ほか 12 校 396 名（引率教師含む）

(4) イベントの開催・参加

住民の学習会やイベント等の活動機会をとらえ、職員を積極的に派遣することにより、協働で取り組み体制を整え、活性化を促進する。

不用品や再生品の販売を開催し、住民に広く利用してもらえる機会を提供するとともに、再使用、再生利用の普及啓発の場とする。

R8 計画

- 学校授業への講師派遣 **重点** （\*連携 教育委員会）
- 「かもまる講座」の実施 （\*連携 教育委員会）
- 加賀市環境美化センターによる再生品販売
- 「エコフェスタ」・「クリーンビーチ・インかが」の開催

R7 実施

- ・ 学校授業への講師派遣  
テーマ 「学校給食におけるごみの減量と食品リサイクル」  
6 月 9 日 分校小学校 5 年生（24 名）  
6 月 27 日 河南小学校 4 年生（17 名）

- ・かもまる講座  
講座名：「ごみの減量化・資源化」  
7月 下谷げんきくらぶ（15名）  
10月 サロンつくし（大聖寺西町）（12名）  
12月 湖北地区高齢クラブ（15名）（別紙③のとおり）
- ・加賀市環境美化センターによる再生品販売
- ・「クリーンビーチ・インかが」開催 ※悪天候により中止
- ・「エコフェスタ」開催 令和7年11月26日（日）  
地球温暖化防止をメインテーマに、市と市民活動団体等が連携した環境啓発イベント  
環境ポスター、グリーンカーテンコンテスト、各種団体の活動等の掲示  
フリーマーケット、循環型農業栽培野菜、給食コラボ弁当の販売

(5)組織的な取り組み

町内会及び地区単位の自主的な取り組みを推進する。

R8 計画
○ 廃棄物集積所整備事業補助（市内町内会を対象とする）
○ 美化活動支援（地域清掃、海岸・河川清掃ほか）

R7 実施

- ・ 廃棄物集積所整備事業補助（市内町内会を対象とする）

	申請数	ステーション・ネット数
R6 実績	延べ26町	37基
R7 見込み	延べ26町	61基

- ・ 美化活動支援（地域清掃、海岸・河川清掃ほか）

	実施団体数等
R6 実績	154町・地区・団体
R7 見込み	137町・地区・団体

※地域清掃事業については、令和7年度より車両借り上げ料に対する補助金から、地域清掃協力金へ運用を変更した。

## (6) 容器包装廃棄物の排出抑制

過剰包装の抑制やリユースびんの利用促進に向けた方策について検討し、住民や事業者への普及啓発活動の促進により、容器包装廃棄物の排出抑制に努める。

### R8 計画

- 各種団体と連携した「加賀市ごみナビ」の啓発（会報への記事掲載等）

### R7 実施

- ・ 多言語対応の加賀市ごみナビの啓発のため、加賀商工会議所、加賀機電振興協会、山中商工会、アリス学園加賀校を訪問。

## (7) 地域活動の支援

地域の清掃活動やごみ分別を奨励し、環境教育とリサイクルに取り組めるように支援するなど、住民や事業者で組織する団体が行うごみの減量化のための活動を支援する。

### R8 計画

- ボランティア袋の交付
- 美化活動支援（地域清掃、海岸・河川清掃ほか）

### R7 実施

- ・ ボランティア袋の交付
- ・ 美化活動支援（地域清掃、海岸・河川清掃ほか）

## (8) 情報の提供

住民や事業者の理解を得るために、廃棄物処理法や各種リサイクル法、循環型社会形成推進基本法の趣旨等を積極的に広報する。

資源ごみがどのように再生されているか等、リサイクルの方法について、わかりやすく紹介する。

### R8 計画

- 外国人研修生社員寮賃貸業者や企業と連携した説明員派遣等
- 「加賀市ごみナビ」の普及啓発
- 転入者向け「ごみの分け方・出し方（「加賀市ごみナビ」を含む）」周知
- 小型家電リサイクル法認定事業者との連携

R7 実施

- ・ 多言語対応の「加賀市ごみナビ」の啓発のため、加賀商工会議所、加賀機電振興協会、山中商工会、アリス学園加賀校を訪問し周知依頼。
- ・ 外国人研修生社員寮賃貸業者や企業と連携した分別説明等  
「加賀市ごみナビ」の啓発  
(2/5 村田機械(株)加賀工場、2/17 大同工業(株))
- ・ 転入者向け「ごみの分け方・出し方」周知 (\*連携 窓口課)  
「加賀市ごみナビ」パンフレットの配布
- ・ 区長文書による「加賀市ごみナビ」の周知(回覧文書)
- ・ 小型家電リサイクル法認定事業者との連携  
リネットジャパンリサイクル株式会社 「宅配便によるパソコン回収事業」

(9)生ごみリサイクル事業

水分を多く含む生ごみの分別は、可燃ごみの減量化に大きな効果が期待できることから、市内の小中学校、公立保育園及び家庭から排出される生ごみを分別収集しリサイクル(堆肥化)する。

R8 計画

- 区長宛文書による生ごみ分別の周知(不適正排出指導含む) **重点**
- 学校・保育園給食残渣リサイクル事業
- 生ごみ処理設備設置事業補助金

R7 実施

- ・ 区長宛文書による廃食用油の出し方の周知(不適正排出指導を含む)
- ・ 学校・保育園給食残渣リサイクル事業 (\*連携 学校指導課、子育て支援課)
- ・ 先進的循環型社会地区の取組みを奨励  
**優良事例** 山代まちづくり推進協議会の生ごみ収集による野菜交換会

・ 生ごみ処理設備設置事業補助金

**対象**: コンポスト、電気式生ごみ処理機、密閉容器

	件数
R6 実績	37 件
R7 見込み	39 件

(10) 廃食用油のリサイクル

家庭から排出される廃食用油を市内全域で回収し、燃料及び工業用油脂としてリサイクルする。さらに今後、地域内循環を目指す。

R8 計画
○ 資源ごみステーションでの定期収集、市内商業施設・企業との連携推進
○ 区長宛文書による廃食用油の出し方の周知（不適正排出指導を含む）

R7 実施

- ・ 廃食用油の定期収集、市内商業施設・企業との連携推進
- ・ 「キャンドルナイト（7/19）」「エコフェスタ（11/26）」で廃食用油を収集

(11) 食品ロスの削減

食品ロスの削減に向けて、家庭から排出される廃棄物に占める食品ロスの割合の調査に努め、住民や事業者への啓発を図る。

R8 計画
○ 「3きり運動」の推進 <b>重点</b>
○ 年末年始における「30・10運動」の推進
○ 「美味しいいしかわ食べきり協力店」の登録依頼（*連携 石川県）

R7 実施

- ・ 「3きり運動」の推進  
食品の「使い切り」、料理の「食べきり」、生ごみの「水切り」を周知（広報12月号）

3 分別収集するごみの種類及び排出方法（省略：一覧表のとおり）

4 ごみの処理及びこれを実施するものに関する事項

(1) 収集・運搬計画

① 生活系ごみ

※（ ）内は令和7年度実績見込み値

ごみの種類	収集形態	収集回数	収集体制	収集・運搬量
可燃ごみ	ステーション	週2回	委託業者	8,627 t (8,757)
不燃ごみ	ステーション	隔週（※）	委託業者	430 t (437)
粗大ごみ	-	随時	搬入者（直接搬入） 又は許可業者	1,512 t (1,503)
資源ごみ	ステーション	隔週（※）	委託業者	1,391 t (1,423)
有害ごみ	ステーション	隔週（※）	委託業者	20 t (21)

（※）山中地区は月1回

② 事業系ごみ

ごみの種類	収集形態	収集回数	収集体制	収集・運搬量
可燃ごみ	-	随時	搬入者（直接搬入） 又は許可業者	6,799 t (6,901)
不燃ごみ	-	随時	搬入者（直接搬入） 又は許可業者	148 t (150)
資源ごみ	-	随時	搬入者（直接搬入） 又は許可業者	265 t (256)

(2) 中間処理計画（省略：一覧表のとおり）

(3) 最終処分計画（省略：一覧表のとおり）

(4) 在宅医療廃棄物の処理（省略：一覧表のとおり）

(5) 市が指定する適正処理困難物の処理（省略：一覧表のとおり）

(6) 特定家庭用機器廃棄物の処理（省略）

(7) 農業被害等の防止により駆除されたイノシシ等について

イノシシ等は加賀市環境美化センターで処理することができないため、加賀市の委託により、常拈寺<sup>しょうねん</sup>で処理することとする。なお、処理残渣については加賀市環境美化センターでもえるごみとして受け入れる。

5 ごみ処理施設に関する事項

(1) 焼却施設（省略：一覧表のとおり）

(2) 中間処理施設（省略：一覧表のとおり）

(3) 最終処分場 ※（ ）内は令和 7 年度実績見込み値

施設名称	所在地	埋立容積	残余容量	埋立開始年月
廃棄物処分場	熊坂町 18 番地	745,000 m <sup>3</sup>	39,636 m <sup>3</sup> (40,123)	昭和 47 年 11 月
グリーン・シティ 山中（※）	山中温泉長谷田 町 94 番地 2	13,500 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup> (2,507)	平成 13 年 4 月

（※）グリーン・シティ山中については残余量の測量値が判明したため、埋立てを再開した。  
令和 8 年度中に埋立容積に達する見込み。

**令和8年度 生活排水処理実施計画【参考資料】**

1 生活排水処理計画

※（ ）内は令和7年度加賀市一般廃棄物処理実施計画

項目	区域	人口
計画処理人口（=R8.1.1人口）		60,851人 (61,686)
水洗化・生活雑排水処理人口		37,911人 (38,035)
公共下水道（加入済）	大聖寺川流域、片山津処理区	26,408人 (26,609)
合併処理浄化槽（補助）	合併処理浄化槽整備区域	1,701人 (1,662)
合併処理浄化槽（補助外）	若葉台（地域下水道）	6,722人 (6,636)
農業集落排水（加入済）	新保地区ほか8地区	3,080人 (3,108)
水洗化・生活雑排水未処理人口 （単独処理浄化槽）		21,293人 (21,949)
非水洗化人口		1,647人 (1,702)

2 し尿・汚泥処理計画

(1) 排出量（処理量）の見込み ※（ ）内は令和7年度実績（見込み）

し尿	浄化槽汚泥	合併浄化槽汚泥	計
281KL	5,867KL	7,092KL	13,240KL
(281)	(6,073)	(7,210)	(13,564)

\*計画値は 13,240 KL<16,622 KL（加賀市分処理能力 365 日\*45.54kL/日）の範囲内

(2) 収集・運搬（省略：一覧表のとおり）

3 処理施設に関する事項（省略：一覧表のとおり）

4 その他処理に関し必要な事項（省略）